

VI . 資料

Ⅵ . 資料（１）社会教育の活動例

伊丹市内には様々な「社会教育」の活動がありますが、その中から社会教育委員が関わっているものを「つながり・ひろがり」に視点を置いて、いくつか紹介します。

【PTA】

活動概要	家庭と学校が一体となって、子ども達や会員の福祉を増進し、自由で民主的な教育に協力することを目的として活動しています。各学校により名称は若干異なりますが、愛護部、広報部、成人教養部、保健体育部等、様々な部にわかれ、学校環境をよりよくするよう、地域のパトロール、広報誌作成、講座やセミナーの開催・参加、掃除、体育大会PTAプログラムの企画、地域との交流など活動は多岐にわたります。
つながり ひろがり	<p>全校実施となった「土曜学習」を、校区コーディネーターと連携し、各校特色のある様々なプログラム（学習内容）を開催しています。地域の才能や経験豊富な方々、退職校長、大学生、高校生、公民館や企業などとも繋がり、スクールの運営・実施を行っています。</p> <p>市内は小学校区単位で地区が分かれているので、特に小学校PTAでは、夏祭りなど地域との連携事業を開催しています。地域と協力し、一緒になって夏祭り等を開催することによって、地元の方とのつながり・ひろがりを感じます。これが日常の防犯などにも繋がっています。</p> <p>また最近、コミュニティ・スクール運営を見越し、小学校と中学校のPTAが連携する動きもでてきています。</p>

【伊丹市スポーツクラブ21】

活動概要	市内17の小学校の体育館・運動場を使って、土曜日の午前中は、地域交流活動としてニュースポーツを中心に、平日の放課後は、施設開放時間を利用して、野球、サッカー、バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、空手、グランドゴルフ等の各クラブ独自の種目を実施しています。
つながり ひろがり	<p>各スポーツクラブ21の代表が集まって、スポーツクラブ連絡協議会を組織しています。各クラブの課題を話し合ったり、情報交換をしたりして、横のつながりを持ち、各クラブの活性化を図ると共に、地域コミュニティづくりや地域住民の健康、体力の向上、青少年の健全育成、技術の習得・向上を目的としています。</p> <p>クラブ会員ならば、だれでもが参加できる大会（市内での5×5ビンゴ大会・スポンジボールテニス大会・いたっボール大会等・兵庫県でのニュースポーツ大会）で会員同士の交流を深め、だれでも、どこでも、いつでも、スポーツを楽しめるよう、ひろめています。</p>

【自治会】

活動概要	<p>地域住民の福祉と親睦を図る事を目的として、以下の様な事業を行なっています。</p> <p>①会員福祉の増進に関すること。②衛生、環境保全に関すること。 ③防犯防災に関すること。④会員相互の親睦に関すること。 ⑤市の自治行政に協力すること。</p> <p>具体的な活動内容としては、地域清掃、防犯パトロール、登下校の見守り、高齢者・障がい者などの見守り、バスツアー、ラジオ体操、夏祭り、秋祭り、健康講座、長寿お祝いの会、餅つき大会など（地区社協、まち協分の活動も含む）を行っています。</p>
つながり ひろがり	<p>課題としては、①自治会加入率の低下。（特に集合住宅での加入率が低い）②役員の担い手が高齢化、人員不足。などが挙げられます。</p> <p>社会教育事業に展開するには、地域住民が互いに顔の見える環境づくりが必要です。日頃からの見守りや災害時の対応など、顔の見える場合と見えない場合では、大きな差が出ます。顔が見えると協力体制が強化され、課題解決の一助となり、後継者の育成にもつながるのです。</p> <p>自治会活動で重要なことは、楽しい場を提供する事。これにより互いを知り、地域の輪が広がり、いざという時の力になると考えています。</p>

【伊丹マダン】

活動概要	<p>毎年11月第2日曜日伊丹小学校で開催。色々な国の民族舞踊などを舞台上で披露し、民族衣装の試着コーナーや外国の食べ物の屋台もあります。外国人市民と日本人市民が、互いの民族や文化の違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に生きていくための交流連帯を深める出会いの広場です。（マダンとは韓国朝鮮語で、庭・広場の意味）</p>
つながり ひろがり	<p>1987年中央公民館で始まった「在日朝鮮人問題を考える講座」は4年間続き、講座修了生を中心に誕生した「サラム（人間）の会」という在日コリアンと日本人との交流の場の参加者が、最初の実行メンバーでした。</p> <p>きっかけは阪神淡路大震災でした。当時はボランティア元年ともいわれNPO法もできるなど、民族的な偏見や差別が根強くある中で、行政が少し変わってきたという感じがありました。そして翌1996年に伊丹マダンの開催経費として予算がついたのです。</p> <p>行政が主催して第1回伊丹マダンを実現することができたのには、いくつかの要素が重なっていました。①外的要素として「市民の種まき」があったこと。②中央公民館を中心とした「市民の出会い」。③阪神淡路大震災。というのもこの伊丹マダンは震災復興事業として市の予算がつきスタートしたからです。</p> <p>2017年に第21回を迎える伊丹マダンは、まさに市民力の集大成ともいえる場です。</p>

【いたみわっしょい】

活動概要	<p>中心市街地活性化、青少年の健全育成、新しい文化の創造を目的とした踊りのお祭りです。市内外の小中学校やダンスチーム 40 組 700 人の踊り子が集まり、観客 5,000 人を動員します。</p> <p>2002 年、伊丹市、商工会議所、市民の参画と協働で第一回目が立ち上がり、現在は伊丹市中心市街地活性化協議会が主催し、大学生が主体となった「いたみわっしょい実行委員会」が一年をかけて企画・運営を行います。毎年 10 月に開催され、今年、16 回目を迎え、伊丹のイベントとして定着してきました。</p>
つながり ひろがり	<p>いたみわっしょいのメインテーマは「元気」。毎年実行委員会では元気をさらに加速させるサブテーマを決め、つながり、ひろがりを産み出していきます。16 年間で培った基盤の上に、昨年、新しく繋げたのは「熊本」。今年も震災復興支援に、熊本県大阪事務所と一緒に動きます。また、今年は大手前大学のカレー研究所、音楽団体とも新しくつながり求めています。</p> <p>「いたみわっしょい実行委員会」は伊丹都市開発事業部を事務局として、伊丹市、伊丹市教育委員会、市内小中学校・高校、大手前大学、伊丹市 P T A 連合会、陸上自衛隊、伊丹青年会議所、FM いたみ、ケーブル TV、他各種団体、企業、ダンスチームなど多くの連携を持ちながら事業を進めています。当日のボランティアには大学生を中心に中学生（東中活性隊）、高校生、陸上自衛隊、社会人など 120 人が集まります。</p>

【伊丹はたら子 実行委員会】

活動概要	<p>こどもの職業体験を「本物の店舗」で体験するイベント。キッズニアにはない「本物の店舗、本物の職人、そして地域の一員」である魅力こそ「本物のシビックプライド」を育成すると考え、近年、増加傾向にある親子層と地域の個店との出会いをつくり出すソーシャルプロジェクトです。</p>
つながり ひろがり	<p>伊丹郷町商業会が中心となって活動していますが、実施当初より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013 年「地域商店街活性化事業」（全国商店街振興組合連合会） ・2014 年～2016 年「夢ちから応援事業」（阪神北県民局） <p>といった数々の事業に認定されています。</p> <p>その社会性の高さと、商店街の低迷下の打破アイデアとしても高く評価され、現在は滋賀県の甲賀市や、大阪府の高槻市など、同様のスキーム、プログラムが広く普及しはじめています。</p>

【鳴く虫と郷町 実行委員会】

活動概要	<p>江戸時代の庶民の娯楽として親しまれていたスズムシなど秋の鳴く虫の音を愛でる「虫聴き」という習慣を再現し、さらに現代版にアレンジする取り組みです。江戸時代の酒蔵や町家などの文化財で鳴く虫を展示するばかりでなく、商店街や周辺施設とも連携し、街全体から虫の音が響きわたるようにしています。</p> <p>虫の音を愛でるばかりでなく、関連イベントも多数実施していますが、個々に活動している市民・商業者・公共施設・行政それぞれの取り組みを活かし連携・交流できる内容にしています。「鳴く虫と郷町」を通し、コミュニティ間の出会いや共通するビジョンが形成され、活動範囲がより拡充することを目指しています。</p>
つながり ひろがり	<p>当初は、財団法人伊丹市文化振興財団と伊丹市昆虫館（その後、両者は一つの組織となり、公財いたみ文化・スポーツ財団となる）の連携事業でしたが、12年間、開催することで、市内の文化施設、公共施設との連携のみならず、商業者や市民などありとあらゆる立場の人が関わる取り組みとなり、現在は実行委員会化し、官民協働の仕組みを確立することとなりました。</p> <p>2009年文部科学省博物館ネットワーク構築推進事業。2015年「サントリー地域文化賞」最終選考選出／サントリー文化財団。2016年「地域再生大賞」優秀賞／共同通信社+地方紙45紙。</p>

【伊丹市公民館事業推進委員会】

活動概要	<p>市民の参画と協働により公民館事業を運営するために2004年に設立された、市民公募約30人で組織される、教育長委嘱の委員会です。現在は、1)市民講座企画、2)子ども事業、3)グループ支援、4)家庭教育支援、以上を検討する4部会で、事業の企画運営を行っています。</p>
つながり ひろがり	<p>「頼まれて」「公民館の手伝いをしたくて」「自分の力を生かせそう」と参加動機は様々。2017年度の委員構成は、女性19名、男性9名、設立当初からの委員7名、2年以内の委員7名、その他14名で、経験や年齢は幅広くバランスが取れています。委員仲間から刺激を受けて、公民館以外のボランティア活動に発展しているケースもあります。</p> <p>事業に関しては、講座修了生の交流を応援したり、登録グループの一覧表を自治会回覧板で案内したり、グループ紹介新聞を作成したり、と外に向けてのつながり・ひろがりも念頭に置くようになってきました。研修会で作成したキャッチコピー「縁ジョイ！KOMINKAN！学び・楽しみ・つながり みーつけた！」を広く知ってもらおうのが、次の目標の1つです。</p>

【伊丹市スポーツ推進委員会】

活動概要	市内17の小学校区に、2名ずつのスポーツ推進委員がいます。34名のスポーツ推進委員は、月1回の定例会・実技研修を行い、スポーツクラブ（SC）との連携・調整をとりながら、だれでも、どこでも、いつでもスポーツができるように、スポーツの活性化を目指しています。
つながり ひろがり	各種団体より、要請があれば、地域交流活動としてニュースポーツ（5×5ビンゴ・いたっボール・囲碁ボール・カローリング・フライングディスク・ボッチャ・グランドゴルフ等等）の出前講座にも出かけます。「5×5ビンゴ大会」・「スポンジボールテニス大会」を主催し、三世代交流やスポーツクラブ会員間の交流が深まり、熱い熱戦が繰り広げられます。 また、伊丹のスポーツ推進委員が考案した、「いたっボール」は、子ども会や児童クラブで、人気のニュースポーツです。今年は、第14回夏季いたっボール大会・第12回春季いたっボール大会が開催され、青少年の健全育成の一翼を担っています。（ちなみに「いたっ」とは、伊丹の「いた」・遮蔽物の「いた」・ボールが当たった時の「いたっ」です）

【学校支援地域本部事業・土曜学習事業】

活動概要	学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てるため、地域住民が図書・環境・学習支援等、地域の教育力を活性化するとともに、学校での教育活動を支援しています。
つながり ひろがり	学校は、教室や多目的室等活動場所を、学校支援地域本部に提供しています。ボランティア活動を通して、学校と地域、学校と保護者のコミュニケーションが活性化され、学校の様子、状況を把握してもらえることで、学校が抱える課題解決に向けて協働することができます。また、土曜学習の推進、充実が図れると感じています。

【コミュニティ・スクール】

活動概要	学校が抱える複雑・多様化した課題の解決は、学校だけの対応では限界があり、地域住民や保護者の学校運営への参画が不可欠となってきています。そのため、コミュニティ・スクールを設置し、学校と家庭、地域の参画と協働により、子ども達に「より質の高い教育」を提供しようという活動です。
つながり ひろがり	家庭、地域は、今まで「支援」という立場で学校教育に携わってきましたが、コミュニティ・スクールに移行することで、学校運営協議会を設置し、「協働」という立場で子どもの教育を推進することになります。 学校運営協議会委員は、学校運営に一定の権限を持って学校運営に参画することができます。 情報や目標、課題等を共有することで、多くの人に当事者意識が生まれ、今まで以上に保護者、地域住民が教育活動に参画するようになり、学校・家庭/地域の連携がさらに強固なものとなります。また、学校や地域の課題等の解決が促進されるのです。

【環境教育団体「エコスマイル」】

活動概要	<p>地域の親子と一緒に楽しく環境（エコ）について学習し、環境活動ができればと2010年に立ち上げました。特に、乳幼児も環境イベントに参加できるようにと、0歳の子どもから中学生まで加入可能にしています。「楽しく笑ってエコ活動！」を基本理念にしているので、親子で楽しく、笑顔がある活動を心掛けています。子どもたちの年齢層も幅広いので、まるで兄弟のようにみんなで協力しあって活動に取り組んでいます。</p> <p>主な活動は「リサイクル工作」「野外活動」「エコ学習会」「社会見学（環境に取り組む企業の見学）」「エコ料理」「エコグッズの制作」「エコの普及活動」などです。エコスマイルの活動をきっかけにして、少しでも環境に興味をもってもらえればと願っています。</p>
つながり ひろがり	<p>「エコスマイル」は、兵庫県「まちの寺子屋」、兵庫県阪神北県民局「まちの子育てひろば」、伊丹市子育て支援課、伊丹市子育て支援センター、伊丹市子育てサークルネットワーク、伊丹市環境保全課、こどもエコクラブ全国事務局（本部は東京）、伊丹市ボランティア・市民活動センター、伊丹市消費生活センター、伊丹市立市民まちづくりプラザ、などにご支援をいただき、情報収集や講師派遣、エコ活動の広報など活動をサポートいただいています。</p> <p>多方面の方々と長くつながることで環境活動＋子育て支援を楽しく継続できているのだと思い、感謝しています。また、地元のボランティア団体の方々やエコ活動をしているの方々と、ご縁があつてつながることができ、地元との絆を感じています。</p>

【ことば蔵交流事業 コトバーシティ英語読解講座】

活動概要	<p>伊丹市立図書館本館「ことば蔵」で、毎月第3土曜日に開催。40名前後の受講生に毎月1回90分、2017年8月で29回となりました。「ことばと表現の面白さ、新発見・再発見」「学術研究レベルの内容を的確明解に解説」がコンセプトで、「点数化される英語学習」ではなくて、「知的好奇心」の刺激となり、「知性・教養」の共感と共有が可能な「英語^{がくしゅう}楽修」を目指しています。</p>
つながり ひろがり	<p>「コトバーシティ」とは、<u>ことば＋ユニバーシティ(大学)</u>の造語です。この講座は、図書館の「運営会議」で提案し、承認されてスタートしました。献身的な1階交流フロア職員と20代から80代までの伊丹市民・近隣市民の熱心な受講者との緩やかな「つながり」の中で、「妥協はしないがサービスはする」「知性と教養を共感して共有する」をモットーに、毎回楽しく講座運営をしています。</p>

【NPO 法人あなたらしくをサポート（らしーく）】

活動概要	伊丹市男女共同参画施策市民オンブード経験者や応援者が母体となり、2013年に設立したNPOです。一人ひとりが「自分らしく」生きることができる社会を目指し、講座やフリートーク、情報発信などを行っています。
つながり ひろがり	設立当初は、自主企画の割合が多かったのですが、ここ数年は「連携」を大切にしています。ラストホール、ことば蔵、女性・児童センターなどの施設と一緒に事業を行ったり、伊丹市教育委員会との協働事業で、小学6年生の「キャリア学習ノート」にオリジナルイラストでキャリアを伝えるページを受け持ちました。また「女子中高生のための関西科学塾」と「伊丹市教育委員会」と「らしーく」3者の連携で、東中学校や荒牧中学校で、理系の楽しさを伝える事業をすすめています。 他組織と「おもい」を共有、交換してつながることで、アイデアが豊かに広がることを実感しています。

【NPO 法人ワークショップデザイナー推進機構】

活動概要	地域、企業等のコミュニティで、社会教育や職業能力開発等の活性化のために実施されている参加体験型活動プログラム（ワークショップ）の企画・運営ができる人材として、大学の履修証明プログラムにより育成されたワークショップデザイナー（WSD）。当法人は、WSDに対して、①社会的な地位向上に寄与する事業の実施、②資質向上に向けての研修事業の実施、③多様な現場での成果の増進に寄与できる人材としての資格認定の事業を実施、を通して社会の発展に寄与することを目的としています。
つながり ひろがり	現在、全国で各大学の履修証明プログラム修了生は1000名を越えるまでとなりました。修了生に対しては、文部科学省所管財団法人生涯学習開発財団による認定資格も実施していて、マスタークラスとして認定されるワークショップデザイナーも増えています。 年4回のシンポジウムの開催や、東西ワークショップデザイナーによる合宿、全国の自治体からの依頼の請負など、活動は多岐に渡るようになっていきます。